

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センターさぎの宮担当圏域レベル）
開催報告書

1 開催日時 令和7年6月4日（水） 9時30分～11時30分

2 開催場所 東行政センター 3階 31・32会議室

3 参加者 30名

委員 12名（長上地区：5名、笠井地区：7名）、カフェ運営者2名、関係機関 12名、事務局 4名

4 協議の内容

1. 開会

2. 自己紹介

新規委員と事務局から自己紹介を行った。

3. 昨年度の振り返り

配布資料に基づき、事務局より昨年度の協議体の振り返りを行った。

4. 情報提供①

長上地区「ほっとするカフェ」について

配布資料に基づき、事務局とカフェ運営者より情報提供を行った。

【主な意見・質問等】 特になし。

5. 協議事項・テーマ①

情報提供を踏まえて感じたこと、気づいたこと

地区別のグループに分かれて協議を行った。

【主な意見・質問等】

〈長上地区〉

- ・健康マージャンの実施を検討したが、未経験者にとっては敷居が高いのではないかと感じた。
- ・高齢者サロンへの参加には、移動手手段の課題が必ず伴う。
- ・サロンの参加者は客に近い感覚で来られる方が多く、運営側に回るという意識が生じにくいいため、参加者の中で代表を交代するのは難しいと感じる。
- ・サロン等の代表をしていると「何か楽しい催しを用意しなくては」と焦ってしまう。
- ・地域カフェは、参加者が自ずと特技を披露するなど自己表現の場にもなっており、それが人材の発掘にも繋がり得ると感じる。

〈笠井地区〉

- ・シニアクラブではあるが、笠井地区内にも同様に、参加者同士で次回の内容を決めたり、設営などの準備をしたりして、楽しく負担感なく活動している団体がある。
- ・以前、運営者側が参加者の負担がないように設営や内容までをすべて担っていた団体があったが、かえって参加者が退屈になって廃れてしまった。

- ・自治会の協力があることは運営にあたって重要だと思われる。
- ・参加者だけでなく運営者もお互いに楽しいと感じることが大切だと思われる。
- ・積志地区で実施しているサロンに、上石田町の方が参加していると聞いたことがある。
自身が楽しいと感じる活動であれば、ある程度距離があっても参加するのだと感じた。
- ・サロン等の場に男性が少ないと聞いたことがあり、プログラムが要因だと思われる。

6. 情報提供②

「おてつだい長上」と「笠井だるま会」の利用者状況について

配布資料に基づき、事務局より情報提供を行った。

【主な意見・質問等】 特になし。

7. 協議事項・テーマ②

家事支援利用者状況から見える地域の状況や実態について

地区別のグループに分かれて協議を行った。

【主な意見・質問等】

〈長上地区〉

- ・「おてつだい長上」の利用者数(実人数、延べ人数)は、支援に至ったものだけをカウントしているため、相談や下見の段階で断ったケースは数に含まれていない。
実際は、実績の数以上にリーダーや支援員が動いている。
- ・木の伐採や草取りはニーズが高い。
しかし、最近はシルバーで依頼を受け付けていないため、どこに依頼したらよいか迷う人が増えている。
- ・地域でなんでも屋のようなことをしている人もいるため、家事支援の依頼があったケースで対応できないものは、そちらへ繋げられると丁寧だと思われる。
そのためには、他の社会資源を把握しておく必要がある。
- ・支援員の数が徐々に減少しており、尚且つ実際に活動しているのは一部の支援員である。
- ・ゴミ出しは人と顔を合わせる機会が多く、コミュニケーションのきっかけになっている。
- ・全体的な傾向としてリピーターからの依頼が多い。

〈笠井地区〉

- ・豊西町などはやはり農家が多く、家族同士で助け合う風土があると思われる。
- ・笠井町でも草取りなどは自治会のつながりで助け合う場合がある。
- ・家事支援の利用者は一人暮らし高齢者が多いと感じるが、介護保険サービスを利用している人も多いように感じる。
- ・介護保険サービスが難しいゴミ出しや草取りなどは需要が多いと思われる。
- ・ゴミ出しを多く利用している豊西町の方は、90歳の姉妹で週に2回利用している。
- ・笠井新田町は生垣など、庭の大きい家が多いと思われる。
- ・利用者がいる町に偏りがあると感じる。

以前は同じ町の協力員に依頼していたが、せっかく登録していても出番のない協力員の方がいるため、その運用を変更していきたいと考える。

8. その他

(1) 長上・笠井地区生活支援体制づくり協議体 会則について

事務局より、会則の変更点について説明した。

【主な意見・質問等】 特になし。

(2) 生活支援体制づくり協議体委員報酬の支払いについて

事務局より、今年度の協議体委員報酬の支払い時期や方法について周知した。

(3) 次年度の協議体について

【協議結果】

日時：令和7年9月10日(水)9時30分から11時30分まで

場所：東行政センター 3階 31・32会議室 ➡ **浜松市総合産業展示館 3階5号会議室に変更**

【主な意見・質問等】 特になし。

8. 閉会

5 今後の見通し・ 必要な対応

前年度までの振り返りを踏まえ、今年度は以下を意識して協議を行っていくこととした。

- ①他地域の取り組みや、各回開催時の話題等に関する情報提供・意見交換
- ②既存の取り組みの振り返りや、今後必要な取り組みについての意見交換
- ③各町など、細かなエリアにも着目した協議の実施
- ④各回の内容に応じた協議方法の実施

今回は、長上地区の「ほっとするカフェ」についての情報提供やそれを踏まえた意見交換、家事支援活動の取り組みの振り返りを行うことができた。そして、協議テーマを踏まえ、各活動の運営者を含めた協議を行った。それぞれが見聞きした情報に加え、活動運営における意見なども挙げられ、様々な視点での意見交換がなされた。今後の協議においても、適宜テーマに即した参加者を集い、協議を深めていけるよう努めたい。